



平成22年8月20日

各位

上場会社名 株式会社 稲葉製作所
 代表者 代表取締役社長 稲葉 明
 (コード番号 3421)
 問合せ先責任者 執行役員経理部長 江口 勤
 (TEL 03-3759-5181)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成22年3月5日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

平成22年7月期通期連結業績予想数値の修正(平成21年8月1日～平成22年7月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	25,600	△360	△160	△250	△13.95
今回発表予想(B)	25,580	450	680	280	15.62
増減額(B-A)	△20	810	840	530	
増減率(%)	△0.1	—	—	—	
(ご参考)前期実績 (平成21年7月期)	26,478	△783	△587	△2,004	△111.83

平成22年7月期通期個別業績予想数値の修正(平成21年8月1日～平成22年7月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	22,400	△350	△150	△250	△13.95
今回発表予想(B)	22,450	520	770	350	19.53
増減額(B-A)	50	870	920	600	
増減率(%)	0.2	—	—	—	
(ご参考)前期実績 (平成21年7月期)	23,619	△706	△505	△1,933	△107.89

修正の理由

(1)連結

連結業績予想につきましては、企業の設備投資抑制、個人消費の低迷等、当社を取り巻く厳しい経営環境の中で、物置(ガレージ)及びオフィス家具(デスク、椅子)等の新製品の市場投入により売上の拡大を図りました。物置は底堅く推移しており、オフィス家具もOEM製品に回復の兆しが見えてまいりましたが、未だ本格的回復には至っておりません。この結果、売上高は前回予想比△20百万円の25,580百万円となる見込みであります。利益面におきましては、前年度に比較し原材料である鋼材の単価が安定的に推移した事、大和工場閉鎖等による構造改革効果、経費削減の徹底等により、前回予想を上回り、営業利益450百万円、経常利益680百万円、当期純利益280百万円となる見込みであります。

(2)個別

個別業績予想につきましても、連結業績予想と同様の理由で修正いたします。

(注)上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以上